

# 敬 仁

平成21年8月21日発行  
(指定介護老人福祉施設)  
特別養護老人ホーム

## 第2 溪山荘 ぽっぽ

発行人/櫻井 誓行 編集人/敬仁編集委員

## 溪 山 荘

発行人/久保田 佳 編集人/敬仁編集委員

# 「敬仁」発刊100号記念



▲ 溪 山 荘



▲ あかり苑

第2 溪山荘  
ぽっぽ



## 回 想

第2 溪山荘ぽっぽ施設長  
(法人・常務理事)  
櫻 井 誓 行

機関誌「敬仁」は今回で発刊100号を迎えることとなりました。このことを編集担当者から知らされて本当にびっくりしました。昭和年代まで隔月(年6回)、平成に入って年4回の発刊になったと記憶しています。第1号は昭和61年7月です。保管してある「敬仁」を紐とくと、私の脳裏に23年間の様々な出来事や光景が走馬灯のように駆けめぐります。

この間一番印象に残ることは、2000年ミレニアム時に創設された介護保険制度です。それまでは、高齢者福祉の端緒(サービスの端緒)は、在宅・施設サービスを問わず行政処分的一种である措置制度により開始・実施されてきました。従って、サービスを求める人々は行政からの救済(お助け)を受けるという引け目とプライドの消失に嫌悪感をもちながら、しかし、必要に迫られて行政が提供する(委託)福祉を甘んじて享受してきたというのが当時の福祉の受け手側の大方の感じ方だと思います。一方、行政から委託された福祉サービス(当時は、サービスとあまり言わなかった)

事業者にとっても、行政感覚(救済・お助け感覚)がはびこっていましたから、今で言うサービスとは程遠い内容でした(少なくとも、昭和期から平成5~6年ごろまでは)。

介護保険制度の施行直前後は、この革命的とも言える制度変革を理解するために関係者否国民等しく真剣そのものでした。そして何かいい時代が来そうだという期待感にあふれていました。決して大袈裟でなく、言わば、東西の壁、ベルリンの壁の崩壊時の興奮に近いものでした。

介護保険制度は、成熟期(定着期)に入ろうとしている今、「措置から契約」という教材等に出てくる言葉は、興奮の変革期を経験した私どもにとって、極めて無機質な言葉にしか映りません。

私たちは、この変革期当初の熱い思いをもう一度見つめ直し、真の意味での介護サービスの提供に真面目に取り組むべきときだと思います。

※明るく、元気な介護職員を募集しています。

※ボランティアを希望される方は、  
どうぞご一報下さい。

社会福祉法人 敬 仁 会

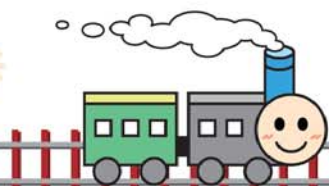
☎ 24-2288





昭和61年6月 溪山荘完成

「心」の  
旅の始まり



50床・ショートステイ3床



平成9年 在宅サービスの始まり

30床・ショートステイ5床プラス  
デイサービス 定員35名



平成9年4月 溪山荘新館完成

平成19年9月 第2溪山荘「ぼっぼ」「萩の苑」完成



平成19年 新型(全室個室)老人ホームの始まり

特別養護老人ホーム	70床
ショートステイ	10床
デイサービス	25名
萩の苑	30名

平成21年4月 あかり苑完成



平成21年 地域密着サービスの始まり

認知症対応型生活介護施設(グループホーム)  
2ユニット 18床

未来への旅

# 溪山荘だより



私たちが名付け親ですにゃ〜 



TAIZÔ



HARUMI



## 溪山荘 デイサービスセンターだより

「小浜旅行」6月20日実施



小浜の名産、「若狭塗り箸」の体験をしました。普段は体験できない、いい思い出になりました。

「小浜食文化館」



塗り箸体験の他に、館内も見学しました。小浜の歴史にも触れる事が出来ました。

## あかり苑だより

みんなで元気に畑を作ってます!!



一生懸命植えました。



みんなで収穫です。

# ぽっぽだより

## 5月 ～フラダンス披露～

フラダンス愛好家の方たちの訪問があり、皆さん楽しませていました。



## 6月 ～運動公園へお出かけ～

天気がよかったので運動公園に行きました。つつじの花がきれいに咲き、池の鯉に餌をあげたりして楽しませていました。

## 7月 ～認知症研修会～

外部講師をお招きしての職員研修会を実施しました。認知症の事を詳しく勉強ができ内容の濃い研修会となりました。



## ぽっぽ デイサービスセンターだより

ぽっぽデイサービスセンター大運動会 5/26 5/27



5月26、27日の2日間で、運動会を行い、紅白に分かれて熾烈な戦いが繰り広げられました。とは言え、激しい運動はいたしません。誰でも気軽に楽しめる種目ばかりを用意し、多くの皆様にご好評をいただきました。この笑顔が何よりの証拠です。

## 萩の苑だより

6月30日 萩の苑バーベキュー大会を開催



昨夜来の雨も上がり、入所者の皆様、テントの設営、焼肉・焼きそば・野菜の料理、そして、あとかたづけとみんなの手作りバーベキューをお楽しみいただきました。



■社会福祉法人敬仁会 貸借対照表

(平成21年3月31日現在/単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	382,658	流動負債	99,205
現金	273	未払金	62,625
預金	199,322	預かり金	7,539
未収金	168,957	仮受金	7,324
立替金	14,072	賞与引当金	21,717
前払金	0	徴収不能引当金	0
仮払金	34		
固定資産	2,133,228	固定負債	727,930
基本財産	1,915,020	設備資金借入金	628,977
建物	1,635,424	長期運営資金借入金	85,380
土地	279,596	退職給与引当金	13,573
その他の固定資産	218,208	負債の部合計	827,135
建物	15,494	純資産の部	
構築物	2,358	基本金	263,631
車輛運搬具	29,202	国庫補助金等特別積立金	912,450
器具及び備品	66,383	その他の積立金	0
長期貸付金	84,971	次期繰越活動収支差額	512,669
その他の固定資産	6,227	(うち当期活動収支差額)	96,321
県退職共済掛け金預け金	13,573	純資産の部合計	1,688,751
資産の部合計	2,515,886	負債の部及び純資産の部合計	2,515,886

脚注: 減価償却費の累計 637,246,553円

徴収不能引当金の額 0円

■社会福祉法人敬仁会 資金収支計算書

(平成21年3月31日現在/単位:千円)

勘定科目		決算額		
経常活動による収支	収入	介護保険収入	764,410	
		措置費収入	55,590	
		経常経費補助金収入	3,950	
		寄附金収入	1,465	
		雑収入	5,033	
		受取利息配当金収入	166	
		事業外収入	874	
		経常収入計(1)	831,488	
		支出	人件費支出	481,059
			事務費支出	71,819
事業費支出	122,374			
借入金支出	10,462			
経常支出計(2)	685,714			
経常活動収支差額(3) = (1) - (2)		145,774		
設備整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	153,930	
		固定資産売却収入	0	
		施設整備等収入計(4)	153,930	
	支出	固定資産取得支出	213,095	
		施設整備等支出計(5)	213,095	
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		▲ 59,165		
財務活動による収支	収入	借入金収入	60,019	
		その他の収入	3,105	
		財務収入計(7)	63,124	
	支出	借入金元金償還金支出	7,072	
		その他の支出	5,850	
		財務支出計(8)	12,922	
		財務活動収支差額(9) = (7) - (8)	50,202	
当期資金収支差額合計(10) = (3) + (6) + (9)		136,811		
前期末支払資金残高(11)		168,359		
当期末支払資金残高(10) + (11)		305,170		

ご協力ありがとうございました。

21年4月1日~6月30日(敬称略)

溪山荘 寄付金品

- ・御名 米澤 賢治
- ・三島町2 魚住雄一郎
- ・筋生野 藤本 達仁
- ・松島町 治儀 里江
- ・櫛川 鈴木 末男
- ・開町 嶺南自動車
- ・福井市 高木 和美
- ・樫曲 稲葉 貞子
- ・川崎町 野波 俊一
- ・蓬萊町 松野 輝美
- ・川崎町 鞠山美智子
- ・相生町 奥山 克巳
- ・赤崎 増田 習一
- ・筋生野 山本 一枝
- ・稲葉つぎ氏ご家族 久保みち子
- ・若狭医療専門学校
- ・松原町 寺野 庄市
- ・筋生野 藤本 達仁
- ・三島町1 西部幸三郎氏ご家族
- ・愛知県 山本ますゑ
- ・向日市 田中 千秋
- ・砂流 丸田 博
- ・三島町1 ウタ 商店
- ・江良 濱野 邦彦
- ・長谷 林 暁美
- ・藤ヶ丘町 松葉利雄様ご家族
- ・呉竹町1 粕垣 はな
- ・相生町 松木 春枝
- ・山泉 千田 英夫
- ・清水町1 菅野 隆治
- ・筋生野 小川 睦江
- ・泉ヶ丘町 伊藤 弘樹
- ・三島町1 花岡 たみ
- ・白銀町 福井 銀行
- ・昭和町2 井野 龍子
- ・新和町2 三谷 茂人
- ・相生町 中村 弘幸
- ・櫛川 野崎 恵子

第2 溪山荘ぼっぼ 寄付金品

- ・松島 鈴木 末男
- ・御名 米澤 賢治
- ・清水町 谷口 清治
- ・和久野 小川三代子
- ・香見 辻 博史
- ・石ヶ町 三宅 玉夫
- ・鉄輪町 関塚 外次



編集後記

この敬仁も皆さんに愛されて、昭和61年の7月に第1号創刊以来ここに第100号を迎えました。皆様のご支援に支えられてこそ、ここまでこれたのではないかと存じます。この意義ある100号の編集に携わることができたことを光榮に思いますとともに歴代の担当のかたがたに心から敬意を表します。

今後も200号300号と、溪山荘・ぼっぼ・萩の苑・あかり苑の足跡を残しながら、充実発展することを期待してやみません。猛暑の中、皆様夏ばてしないようご自愛ください。

編集委員 寺崎 由雄